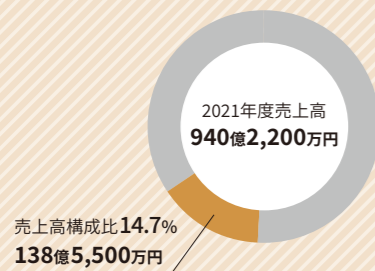


セグメントの概況

輸送用機器・鉄構事業

Transportation Equipment and Steel Structure

売上高構成比

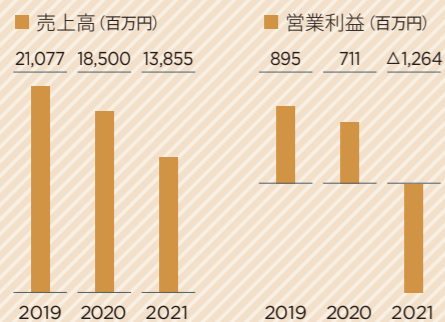


業績ハイライト

輸送用機器におきましては、貨車の売上が2020年度に比して増加しましたが、無人搬送装置や民生用バルクローリなどが減少しました。鉄構におきましては、大野油坂道路中津川高架橋鋼上部工事、谷郷池橋、首都圏中央連絡自動車道島名第一橋、東海道新幹線大規模改修工事などの売上がありましたが、官公庁向けの道路橋などが2020年度に比して減少しました。

以上の結果、輸送用機器・鉄構事業の売上高は138億5,500万円となり、2020年度に比べ25.1%減少となりました。

過去3か年の売上高・営業利益



事業内容 [主要製品]

輸送用機器事業は、タンクローリ、タンクトレーラ、タンクコンテナ、貯槽、大型陸上車両（キャリア）、無人搬送装置、貨車などの設計・製造・販売を行っています。LPガスなど資源・エネルギーを運ぶタンクローリをはじめ、製鉄所構内で大型コイルなどの重量物製品を運搬するキャリアや無人搬送装置、鉄道貨物輸送を担う貨車など、どの製品も社会インフラにはなくてはならないものです。お客様に密着し、様々な用途での細かなニーズに最大限応えることで、いずれの製品も高いシェアを誇っています。特にLPガスを集合住宅等に配送する民生用バルクローリのシェアは70%を超え、製造台数は業界ナンバーワンです。



民生用バルクローリ



大型無人搬送車

鉄構事業は、道路橋・鉄道橋などの鋼橋の設計・製造・架設を行っています。古くは明治時代から現在に至るまで、全国3,000以上の橋を架け、レインボーブリッジや明石海峡大橋などの長大橋の工事にも参画し、日本の社会の発展に貢献してきました。近年では、東海道新幹線の大規模改修工事も担い、その施工技術を道路橋の補修にも生かしています。社会インフラの老朽化対策が重要視される中、今後ますます需要の高まる補修・保全事業にも注力しています。



レインボーブリッジ

輸送用機器事業では、主力の高圧ガスタンクローリや大型陸上車両（キャリア）を中心に、市場ニーズを捉えた新製品の投入や新技術の導入に向けた技術開発を進めてまいります。また、コスト低減を進め、競争力の強化と新規のお客様の開拓に努めてまいります。

鉄構事業は、新設橋梁では総合評価落札方式への対応能力の強化に努め、受注量を確保し、補修・保全分野では、東海道新幹線の大規模改修工事における橋梁補修の工事実績を通じて蓄積したノウハウを生かして道路橋の補修・保全工事の受注拡大に努めてまいります。

2021年度は営業損失を計上しましたが、いずれの事業においても、売上の拡大とコスト低減を図り損失改善に努めてまいります。



執行役員 輸機・インフラ本部長 片桐 衆

新型キャリア「フレリア」

これまで培ってきた重量物搬送車両の技術を生かし構内専用の運搬車として、既存のトレーラやトラックの代替となる小型の新型キャリアを開発しました。「小さくて力持ち」を製品コンセプトとして「フレリア」と命名された本車両は、25tトラックと同程度の車両サイズでありながら、最大積載量は約70tもあり、様々な重量物製品が積載可能な汎用性のある車両です。また、全軸操舵による多彩な操舵モードにより、狭い構内でも小回りの利いた走行ができます。



衣浦大橋

衣浦大橋は、愛知県半田市と高浜市を繋ぐ衣浦湾の海上に架かる道路橋で知多半島と西三河地方を結ぶ重要な橋です。交通渋滞の緩和のため、同橋の南側に橋梁を新設して道路を拡幅する工事が進められています。本工事では、衣浦製作所で製作した橋桁を製作所に隣接する岸壁から台船に積み込み、架設場所まで船で曳航し、潮の干満差と大型ジャッキの昇降を利用して架設しました。架設時の潮位変化と架設位置の精度管理、施工時の安全性の確保など、高い施工技術が要求される工事となりました。今後も高い技術力で様々な施工環境に対応できるよう取り組んでまいります。



ML運搬台車

宇宙航空研究開発機構（JAXA）種子島宇宙センターに新型のML運搬台車を納車しました。ML運搬台車は、ロケットをセットした移動発射台を組立棟から発射地点まで運ぶ役割の車両で、H3ロケットの打ち上げ用として開発されました。タイヤは14軸56輪で構成しており、磁気センサーが走行路を読み取り位置ズレを自動修正しながら走行するもので、車両構造や走行誘導技術など随所に産業車両製品で培ってきた技術を生かしています。



東海道新幹線大規模改修工事

開業から50年以上が経過した東海道新幹線では、引き続き安全・安定輸送の確保のために、橋梁やトンネルなどの土木構造物を延命する大規模な改修工事が進められています。当社は、主に静岡地区の鋼橋の改修工事を行い、日本の大動脈である東海道新幹線を維持する一翼を担ってきました。これらの工事で蓄積した鋼橋の補修ノウハウを、近年増加している全国各地の道路橋の補修工事にも生かし、社会インフラの維持に貢献していきます。

